

メキシコ
ハリスコ州家畜衛生診断技術向上計画
運営指導(計画打合せ)報告書

平成15年1月

JICA LIBRARY



1172008(3)

国際協力事業団

615
879
ADH

農開団
J R
03-1

メキシコ

ハリスコ州家畜衛生診断技術向上計画
運営指導(計画打合せ)報告書

平成15年1月

国際協力事業団



1172008【3】

序 文

国際協力事業団は、メキシコ合衆国関係機関との討議議事録等に基づき、メキシコ ハリスコ州家畜衛生診断技術向上計画に関する技術協力を実施しています。

当事業団は、討議議事録にて署名された暫定実施計画に基づき、活動計画及び年間活動計画についてプロジェクト関係者と協議し、助言を行うことを目的として、平成14年11月26日から12月7日まで、当事業団 河合 恒二 メキシコ事務所長を団長とする運営指導調査団を現地に派遣しました。

本報告書は、同調査団による協議結果等を取りまとめたものであり、今後本プロジェクトの運営にあたり活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援を頂いた内外の関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

平成15年1月

国際協力事業団

農業開発協力部

部長 中川 和夫

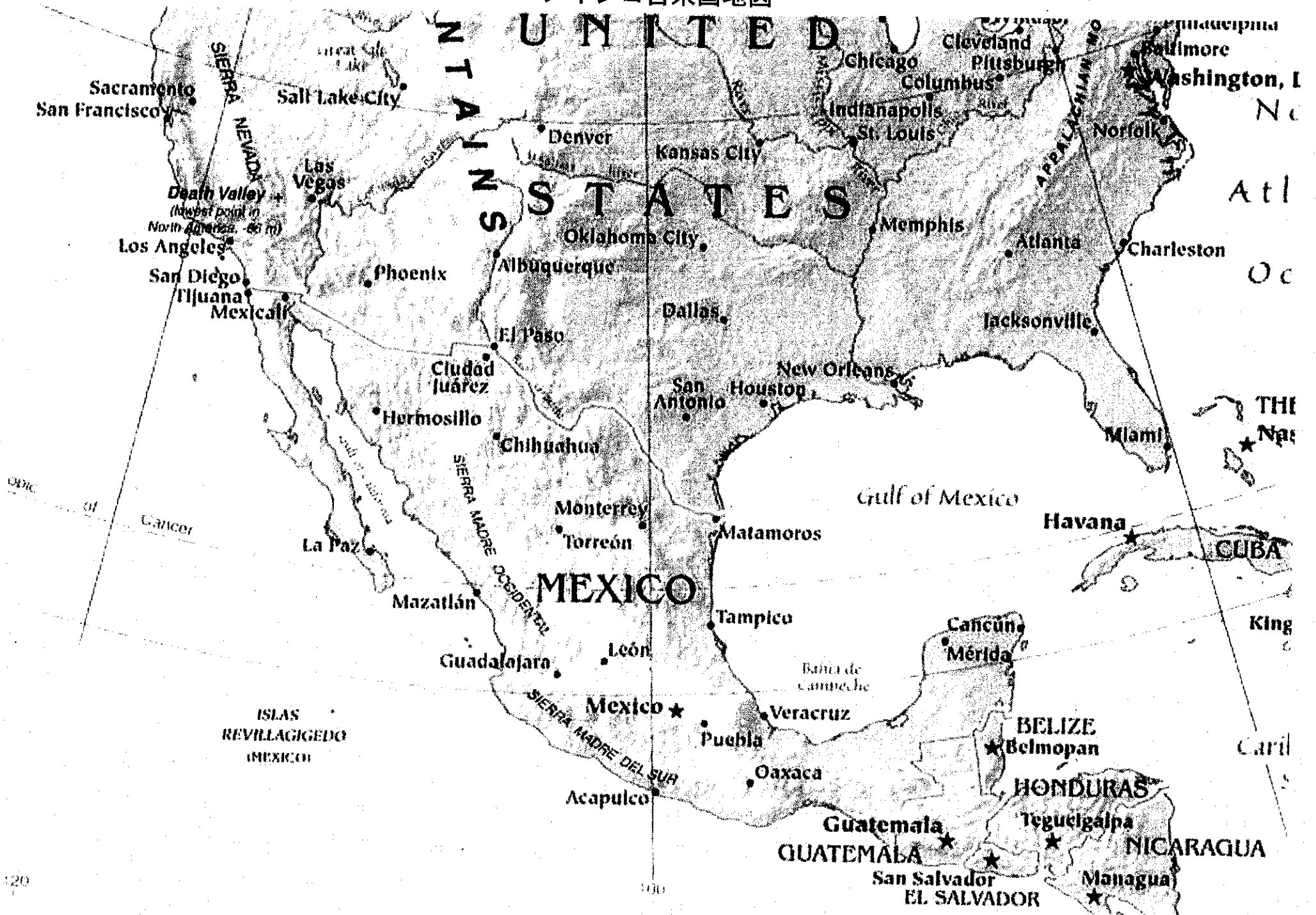
目 次

序 文
目 次
地 図
写 真

第1章 運営指導調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
第2章 要 約	4
第3章 暫定実施計画の進捗状況	6
3-1 活動分野別進捗状況	6
3-2 C/Pの配置と対応	7
3-3 人員の配置	7
3-4 専門家派遣	7
3-5 研修員受入れ	7
3-6 機材供与	7
3-7 ローカルコスト負担事業	8
第4章 諸活動計画について(PDM、PO、APO)	9
4-1 PDM	9
4-2 PO	9
4-3 APO	10
4-4 活動のモニタリング	10
4-5 ローカルコスト負担	10
4-6 プロジェクト実施体制	10

第5章 プロジェクト実施上の課題	11
5-1 運営面の課題	11
5-2 技術面の課題	11
第6章 調査団長所感	13
付属資料	
1. ミニッツ	17
2. 三者間による会議議事録	36
3. メキシコ側プロジェクトコーディネーターとエルサルトラボ所長の機能と役割 ...	38
4. プロジェクトディレクターからプロジェクトマネージャーへ宛てた手紙	45

メキシコ合衆国地図



ハリスコ州地図

Expedia
Featuring MapPoint®
Technology

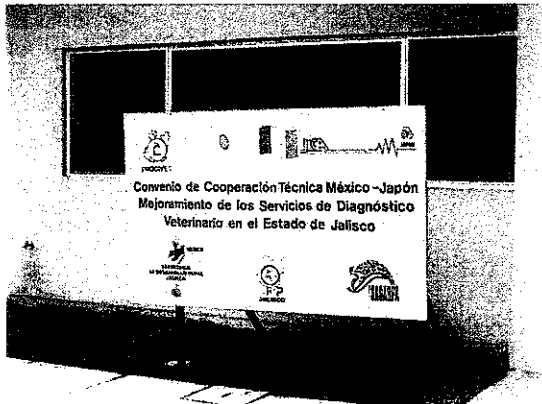




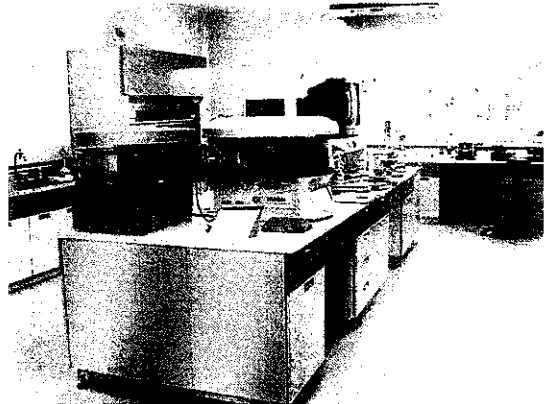
エルサルトラボ（プロジェクトサイト）の正面



細菌学検査室



プロジェクトの看板



病理学検査室



ウイルス学検査室



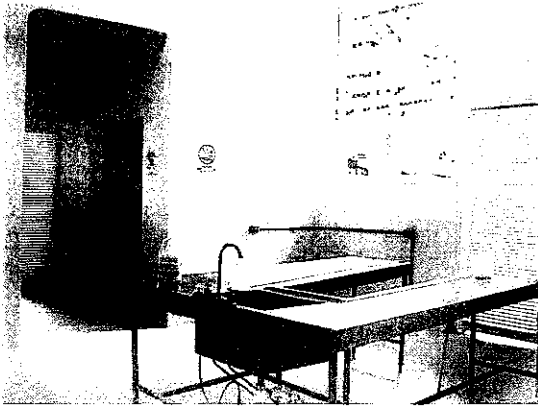
血清学検査室



結核菌検査室



焼却炉



解剖室



ハリスコ州政府 農村開発局



滅菌・洗浄室



ハリスコ州 農政局

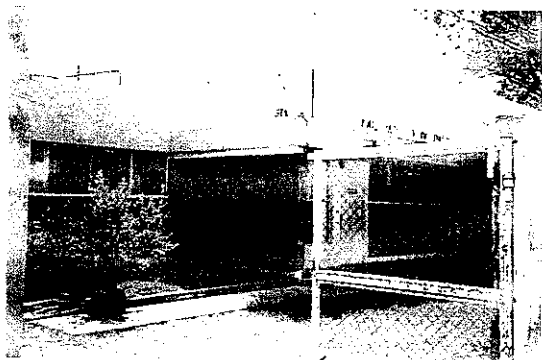
(農牧業農村開発漁業食糧省=SAGARPAハリスコ支局)



ハリスコ州牧畜振興保護委員会
(COMITE) 事務所



ミニッツの署名



COMITEラボ (ティパティトラン)

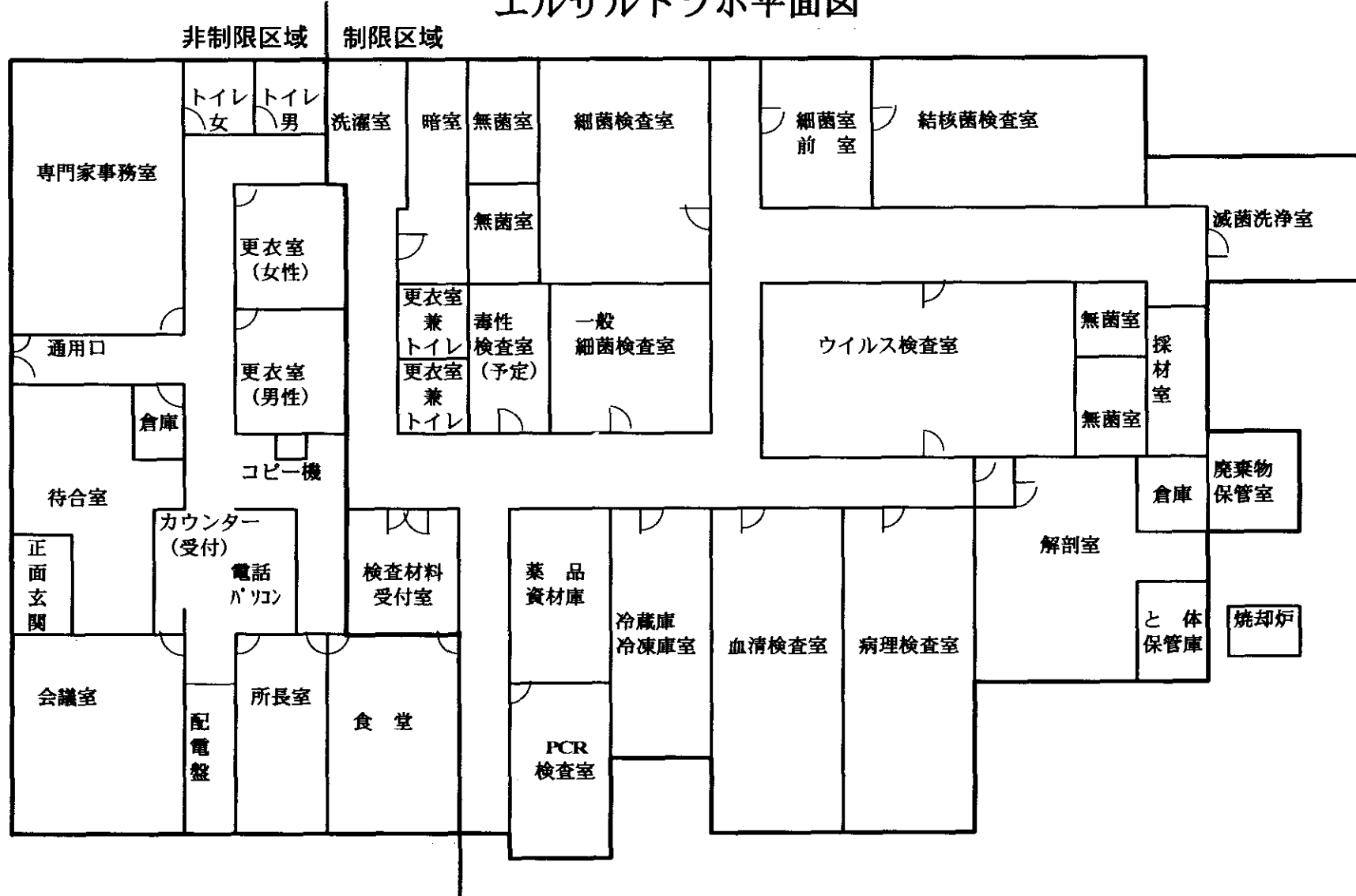


ミニッツの交換



調査団からの提言

エルサルトラボ平面図



第1章 運営指導調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

(1) 経緯

メキシコ合衆国(以下、「メキシコ」と記す)は近年、順調に経済成長を遂げている一方で、都市部と農村部の所得格差が増大傾向にある。人口の移動を通じて農村部の衰退、都市インフォーマルセクターの肥大化を引き起こしてきており、農村部での産業振興、雇用創出が喫緊の課題となっている。

農村部での産業振興の観点から、広大な天然草地、牧草地を有効活用し得る畜産は有望な産業である。しかし、メキシコには現在も多くの家畜の伝染性疾病が存在するため、生体や畜産物の処分、域外への移出の制限による経済損失が大きく、産業振興には大きな問題となっている。そこで、家畜衛生状況を改善し、農村部の産業振興を図るため、メキシコ政府は日本政府に対し、1994年6月5日、畜産農家と密接に結びついている地域中央診断ラボを整備し、診断・検査等技術の改善・向上を目的とするプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

これを受けて日本側は、1999年4月に事前調査団、また同年11月には短期調査団を派遣し、協力案件の妥当性、協力の範囲などを検討した。その後、メキシコ側が建設することとした新ラボの建設状況に合わせ、2000年12月には第2次短期調査団が派遣され、これまでの調査結果を踏まえてプロジェクト・サイクル・マネージメント(Project Cycle Management : PCM)ワークショップを開催し、プロジェクト・デザイン・マトリックス(Project Design Matrix : PDM)Version 0、暫定実施計画(Tentative Schedule of Implementation : TSI)、実施体制図を作成・合意した。

これらの調査結果を踏まえ、2001年7月に派遣された実施協議調査団によりプロジェクト実施に係る討議議事録(Record of Discussions : R/D)が署名され、同年12月10日には長期専門家が派遣され、5年間の技術協力が開始された。

(2) 目的

プロジェクトが開始され、専門家が活動を開始してから約11か月が経過し、また派遣が遅れていた長期専門家も赴任し、専門家の体制が整ってから4か月が経過する。そこでプロジェクトの進捗状況及び問題点を把握し、解決策を関係者と検討するとともに、R/D署名時に策定したTSIに基づき、より具体的な活動計画(Plan of Operations : PO)及びPDMをプロジェクト側と協議・検討し、必要に応じてプロジェクト及びメキシコ政府に提言・助言する。

また、プロジェクト活動の進捗状況を定期的に確認するためのモニタリング・評価計画についてプロジェクト側関係者と協議・検討する。

1-2 調査団の構成

担当分野	氏名	所属
団長／総括	河合 恒二	国際協力事業団 メキシコ事務所 所長
家畜疾病診断	山本 孝史	独立行政法人 動物衛生研究所 疫学研究部 部長
家畜防疫	相田 善勝	農林水産省 動物検疫所名古屋支所 主任検疫官
計画管理	片井 千彰	国際協力事業団 農業開発協力部 畜産園芸課 職員
通訳	鈴木 恵子	

1-3 調査日程

2002年11月26日(火)～12月7日(土)(12日間)

日順	月日	曜日	調査内容	宿泊地
1	11月26日	火	移動 成田空港発→(ロスアンゼルス経由) メキシコシティ着	
2	27日	水	JICAメキシコ事務所打合せ 在メキシコ日本国大使館表敬、外務省技術科学協力局表敬、 農牧業農村開発漁業食糧省(SAGARPA)(家畜衛生局、国際 局)表敬	メキシコシティ
3	28日	木	移動 メキシコシティ発→グアダハラ着 ハリスコ州政府、SAGARPAハリスコ支局、 ハリスコ州牧畜振興保護委員会(COMITE)表敬 エルサルトラゴ視察 カウンターパート(C/P)による活動の進捗状況の確認	グアダハラ
4	29日	金	C/Pによる活動の進捗状況の確認 予算措置、C/P配置、問題点の把握及び今後の対応方針の 協議 ミニッツ案協議	グアダハラ
5	30日	土	地域ラボ、民間ラボ、畜産農家調査	グアダハラ
6	12月1日	日	団内打合せ、資料取りまとめ	グアダハラ
7	2日	月	日本人専門家との打合せ(運営管理、問題点及び今後の対応) モニタリング・評価計画に関する協議 PDM、年間活動計画(APO)、POに関する協議	グアダハラ
8	3日	火	ミニッツ(案)最終協議	グアダハラ
9	4日	水	ミニッツ(案)修正作業 合同調整委員会 ・C/PによるPDM、APO、PO、モニタリング・評価計画、 その他プロジェクト運営に係る事項について説明 ・両政府機関に対する提言等 ・ミニッツ署名・交換	グアダハラ
10	5日	木	午前 移動 グアダハラ発→メキシコシティ着 午後 外務省技術科学協力局報告 JICAメキシコ事務所、在メキシコ日本国大使館報告	
11	6日	金	移動 9:00 メキシコシティ発→	
12	7日	土	→16:50 成田空港着	

1-4 主要面談者

(1) メキシコ側関係者

- 1) 外務省 技術科学協力局 国内協力部
課長 Efraín del Angel Ramírez
- 2) 農牧業農村開発漁業食糧省(SAGARPA)
国際総局 総局長 Victor Manuel Villalobos Arámbula
職員 Juan Bernardo Orozco Sánchez
- 3) ハリスコ州農政局
農政局長 Sergio Córdova Murrieta
家畜衛生企画調整主任 José Llamas Gutiérrez
- 4) ハリスコ州政府 農村開発局(SEDER)
局長 Rodrigo Diez de Sollano Elcoro
企画部長 José de Jesús Ayala Padilla
農牧果樹振興部長 Ricardo González García
畜産課長 César Castañeda Ibarra
- 5) 国立家畜衛生診断サービスセンター(CENASA)
所長 Jesús Arias Ibarrondo
- 6) ハリスコ州牧畜振興保護委員会(COMITE)
会長 Ricardo Jiménez Rubio
事務局長 José Antonio González Godoy
- 7) CPA(Exotic Animal Disease Commission)
西部地区担当者 Luis Alberto Crespo Flores

(2) 日本側関係者

- 1) 在メキシコ日本国大使館
二等書記官 石川 浩
- 2) JICAメキシコ事務所
所長(調査団総括) 河合 恒二
所員 中根 卓
職員 Jorge Luis Díaz Arámbula

第2章 要約

本運営指導調査団は2002年11月26日から12月6日までメキシコを訪問し、メキシコ側関係機関との十分な協議及び現地調査を踏まえ、PDM、PO、APOを見直し、調査団としてプロジェクト活動に必要な事項を提言として取りまとめた。これらの計画や提言事項は、12月4日にハリスコ州グアダハラにて開催された合同調整委員会において承認され、ミニッツが署名・交換された。主な協議・調査事項は以下のとおりである。

(1) プロジェクト活動の進捗状況

TSIに基づき、専門家の派遣、C/Pの配置、C/P研修、施設の提供等については、おおむね順調に進行していることが確認された。

技術移転については専門家の派遣時期が遅れたこともあり、活動分野ごとの進捗状況に差がみられた。

機材の投入については専門家とC/Pとの間で相談し、計画的に調達できているが、ガラス器具などの検査・実験器具が不足しており、効率よく技術移転を行っていくうえで充実を図ることが重要である。

施設の提供(専門家の執務場所)、プロジェクト運営のためのローカルコスト、機材購入時に必要な付加価値税(IVA)の負担についてメキシコ側は十分に認識しており、予算措置も行われていることを確認した。しかしプロジェクトサイトのエルサルトラポにはメキシコ側プロジェクトコーディネーターの執務環境が整っていないため、改善の余地があることを確認した。

(2) PDM、PO、APOの見直し

プロジェクトの運営管理に用いるPDMについて、関係者に役割及び必要性を再度説明し、理解を得るように努めた。特に指標の作成にあたっては、できる限り定量的な評価が可能となるよう助言し、あらかじめプロジェクトで検討していたPDM(案)を基にメキシコ側と協議のうえ内容を見直し、付属資料1. ミニッツのANNEX 1のとおり合意に達した。

また、PO(案)、APO(案)についてはC/Pによる活動の報告、専門家からの聞き取り調査を基にプロジェクト活動の進捗状況を判断し、プロジェクト期間である5年間で実施可能となるように活動を整理、明確化するよう助言した。これらに基づき専門家、C/P及びメキシコ側関係者と協議を重ね、それぞれの内容を見直し、付属資料1. ミニッツのANNEX 2、ANNEX 3のとおり合意に達した。

(3) 主要な協議事項

これまでのプロジェクトの実施状況、今後実施していくうえで解決すべき課題について、専門家及びメキシコ側と協議を行い、合意に達した。協議結果の概要は次のとおりである。

1) メキシコ側関係機関のプロジェクトへの支援

CENASAについては、資機材の提供、技術の標準化及び他州への普及について、引き続き協力するように依頼した。

COMITEについては、エルサルトラボにおける運営面(予算、人の配置、資機材・消耗品の購入等)を引き続き協力するよう依頼した。

SAGARPAについては、プロジェクトを成功させるためにはメキシコ側が主体的な役割を果たすことが重要であることから、オーナーシップを再確認した。

2) メキシコ側プロジェクトコーディネーターの活動とエルサルトラボ所長の位置づけ

エルサルトラボ所長について、プロジェクトにおける役割、位置づけを確認し、メキシコ側プロジェクトコーディネーターを補佐することにより、プロジェクト活動がスムーズに行えるよう関係者と協議した。この協議結果を実施体制図にも反映し、仕事の役割については整理できたが、メキシコ側も重要な問題だと認識しており、詳細については専門家と詰めることになった。メキシコ側が作成したそれぞれの役割について協議した結果は、付属資料3. のとおりである。

3) プロジェクト関係者のコミュニケーションの改善

プロジェクトの円滑な実施と必要な協議を行うために、プロジェクト運営責任者によるプロジェクト運営委員会を、2か月ごとに開催することを確認した。

4) プロジェクトの広報

メキシコ側が本プロジェクトを国民に広く知らしめるための適切な措置をとるよう提言した。

5) 試薬等消耗品の購入ルートの構築

プロジェクト協力期間終了後の自立発展性を考慮し、試薬や消耗品購入のための財源及び購入ルートを確認するよう提言した。

第3章 暫定実施計画の進捗状況

3-1 活動分野別進捗状況

チーフアドバイザー／ウイルス学と業務調整の長期専門家が2001年12月に派遣され、プロジェクトが開始してから約11か月が経過している。派遣が遅れていた細菌学と病理学の専門家も2002年6月、7月に相次いで派遣され、活動もようやく軌道に乗って動き出したところである。それぞれの分野の進捗状況については、プロジェクトに関する現状及び問題点の把握、今後のPOの作成と活動内容の絞り込み等を中心にメキシコ側と協議を重ねた。

調査の結果、通常業務として検査診断を行っているラボではあるが、検査器具類の不足など、物質的な面で改善すべき点が多く浮き彫りにされた。

(1) ウイルス学

- 1) ウイルス分離に使用している発育鶏卵(コマーシャル系由来の鶏卵)の感受性試験を実施した結果、今までラボで使用していた発育鶏卵ではなく、専門家が提案したSpecific Pathogen-Free (SPF) 鶏卵を使用することが望ましい。
- 2) 短期専門家により株化細胞が導入され、株化細胞の維持・保存技術が移転されたが、ウイルス中和試験を実施するための指標となる株がなく、早期に整備する必要がある。
- 3) メキシコ側の機材選定ミスでラボの機材設置場所に電源が確保されておらず、供与機材として導入されていた遠心分離機が使用することができなかった。メキシコ側の予算により2000年12月に電源の工事が完了し機材の作動確認をしたところ、付属部品が不足していることが発覚し、計画していたPolymerase Chain Reaction (PCR)に係る技術移転の開始が遅れることになった。不足していた部品は納入業者のミスであり、早急にメキシコ側が対応を講じた。

(2) 細菌学

- 1) 細菌を長期保存するための技術、凝集反応技術の移転が完了している(ただし、これまでのところ指標とする菌株がラボにないため、今後、レファレンス株の整備が必要である)。
- 2) 今後技術移転を計画している血清反応について、実施のために必要な補体や血球など試薬類のスムーズな調達課題である。

(3) 病理学

- 1) 病理組織標本の作製技術については、その習得に経験をつむ必要があり、技術移転は完了していない。また、組織標本の鏡検については参照となる事例、病理組織の標本が少な

く、今後整備していく必要がある。

3-2 C/Pの配置と対応

実施協議で約束したC/Pの補充については、各分野に必要な人員が配置されており、当面のところ大きな問題は発生していない。所長1名、ウイルス学5名、細菌学5名、病理学3名が配置されており、技術移転対象の人数としても妥当であり、通常の診断業務及び技術移転終了後の普及活動を行うにあたって最低限必要な人員は確保されていると考える。英語能力の向上については、全員が語学学校に通い、英語能力の向上に前向きに努力していた。

3-3 人員の配置

メキシコ側負担により、ラボの運営管理職員、秘書、運転手、通訳が雇用されている。ラボの運営管理職員、秘書についてはラボの日常業務のための雇用であるが、運転手及び通訳についてはプロジェクトのための雇用である。通訳については午前中だけのパートタイムの雇用であり、プロジェクト開始当初は通訳のレベルは決して高いとは言い難いものの、専門家の熱心な指導により徐々に能力の向上が図られ、円滑に業務が推進されることが期待される。

3-4 専門家派遣

これまでに長期専門家4名、短期専門家2名(細菌学、組織培養技術)を派遣し、それぞれ技術移転活動を行っている。一部、長期専門家の赴任時期が遅れたものの、先方から特段のクレームはなかった。

3-5 研修員受入れ

2001年度にはメキシコ側プロジェクトコーディネーターの視察型研修が実施され、日本の家畜衛生関連機関を視察した。2002年度は3名(細菌の培養・同定技術、組織培養法によるウイルス検査技術、病理組織学的診断技術)の派遣が2003年1月から3月にかけて計画されており、効果的な研修になるよう専門家による技術移転が行われている。

3-6 機材供与

これまでに各種実験機器、コピー機、パソコン等の事務機器、車両等が導入されている。供与されたものは適切に管理され、使用されていた。供与機材を選定する段階でC/Pと詳細な仕様を協議していたにもかかわらず、一部機材において指定の電源が配備されておらず稼働できないものがあったが、これについてはメキシコ側の予算で既に設置のための改修を行っている。

試薬など日本からの調達は、メキシコでの受入れの連絡体制が整っておらず通関に日数を要し

ていることが多くみられたが、日本からは可能な限り早い時期に機材の情報をプロジェクトに通知することとし、メキシコ側は連絡体制を強化することで対応することとした。

3-7 ローカルコスト負担事業

メキシコ側は、ラボの建設・整備費、燃料費、IVA、光熱費、人件費、C/Pの旅費等に係る経費はもとより、ローカルコストについてはかなりの部分を負担している。また、今後の活動で予定されているセミナーについては自立発展性を考え、メキシコ側の負担とすることで計画中であった。

第4章 諸活動計画について(PDM、PO、APO)

メキシコ側と合同調整委員会で合意された諸活動計画(PDM、PO、APO)の主な変更点の概要は以下のとおりである。

4-1 PDM

(1) プロジェクトの要約

- 1) 成果部分での表現の変更：「fundamental diagnostic」→「basic examination」
- 2) 活動部分で各分野を簡潔に表示：「virological examination」など

(2) 指 標

プロジェクト目標部分で、診断の向上対象をエルサルトラボだけでなく、ハリスコ州におけるCOMITEラボすべてとする。ただし、すべてのラボで確定診断を行えるようにするのではなく、例えばそのラボで確定診断ができない場合、サンプルをエルサルトラボへ送付することにより確定診断が行える体制の構築も、診断技術の向上と考えている。

成果の指標部分で「9」という数字を入れてあるが、これは最低でも9つある撲滅キャンペーン対象疾病の診断ができるようになるという意図である。またこれまで「important disease」と表現していたものを、重要な疾病について具体的に欄外に記載した。

なお、プロジェクト期間中に診断すべき疾病がハリスコ州で発生した場合に柔軟に対応できるよう、「ハリスコ州で流行している疾病」という表現にした。

また、研修及びセミナーの開催を少なくとも年に3回としたが、これは「ウイルス」「細菌」「病理」の3つの分野がそれぞれ最低年1回開催することを意味している。実質的には各分野とも、年間に、研修1回、セミナー1回の2つの行事を受け持つこととなる。

4-2 PO

(1) 表現の変更：「histopathological diagnosis」→「pathological examination」

(2) ウイルス、病理の分野に記載されていた総合的診断についての記載は削除。

これは、総合的診断というものが個別技術ではなく、「ウイルス」「細菌」「病理」等の各分野で得られた検査成績を総合的にどう判断するかという考え方であり、日常的に専門家がC/Pと議論している事項であるので、特に活動計画の項目に明記する必要はないと判断し、削除した。

なお、当該プロジェクトの目的が「診断ラボを整備し、診断・検査技術の改善・向上」という

ものであり、「総合的診断」が行えることはプロジェクトの目的そのものであることから、新たな項目立ては行わなかった。

4-3 APO

(1) POの変更に合わせて表現を変更。

(2) 現地において日本人専門家及びC/Pからの聞き取り調査を実施した結果、基礎的な技術は習得されており、またプロジェクトの取り組みに対して意欲的であったことから、内容を極端に削減する必要はないと判断した。

4-4 活動のモニタリング

6か月ごとにモニタリング委員会を開催し、プロジェクトの進捗状況を確認することとした。また、モニタリングにあたっては英語の報告書の提出を義務づけることとし、報告書の様式を設定した。

4-5 ローカルコスト負担

メキシコ側は実施協議で約束したC/P及び事務職員を配置しているほか、機材調達に伴うIVA、施設改修費、資機材購入費、光熱費などを支出している。引き続きローカルコストの負担を依頼し、またセミナーや講習会開催に伴う費用についても一部を負担するよう提言し、了承を得た。

4-6 プロジェクト実施体制

プロジェクトコーディネーターについてはラボに常駐することが理想であるが、ハリスコ州農村開発局次長との兼務である。そこで、プロジェクトにおけるラボの所長との役割を明確化し、技術面も統括するC/Pとして位置づけることで対応ができないかと申し入れたところ、メキシコ側関係者で協議し、それぞれの役割を記載した署名入りの文書の提出があった。

第5章 プロジェクト実施上の課題

5-1 運営面の課題

(1) プロジェクト実施体制

専門家の努力の下、プロジェクトの実施・支援体制は整いつつあるが、プロジェクトを成功させるためにはメキシコ側が主体的になって役割を果たしていくことが重要である。

(2) CENASAとの連携

ラボの技術面での支援機関としてのCENASAについては、ラボからの一方的な情報の提供依頼や細胞株・試薬などの分与依頼ではなく、コミュニケーションを密にし、情報を共有し、相互理解のうえでの有効な支援を受けるようにすることが重要である。

(3) メキシコ側プロジェクトコーディネーター、C/P、管理要員の固定的配置

プロジェクトの運営管理、各分野の技術移転を円滑に進めるため、また、成果の維持発展を図るため、メキシコ側プロジェクトコーディネーター、C/P、管理要員の固定的配置が望まれる。これについてはメキシコ側の特段の配慮が重要である。

5-2 技術面の課題

各分野ともPO、APOが作成され、これからが本格的な活動の開始であり、現時点では技術面における細かい問題は特にはない。しかしながら、今後プロジェクトを進めていくうえで以下の3つの課題が示された。

(1) 習得する技術の安定化を図ること

検査技術の習得については、手技を会得することはもちろん、得られる結果に安定した結果と高い精度が伴うことも求められる。そのため、ある程度の回数をこなして技術に熟練度を増すことが重要である(ラボとして検査結果を公表するわけであるから、検査を担当する者すべてに一定水準の能力が求められる)。

特に病理分野においては、担当者の組織標本を見る能力が求められることから、日ごろから多くの症例を観察し、サンプルを見たときにその特徴を的確にみつけられる「眼」を鍛えておくことが求められる。

(2) 総合的診断を行う体制を構築すること

疾病の診断は、ウイルス、細菌、血清、病理の各分野で得られた結果を総合的にどのように

判断するかというものであり、各分野で得られた結果をいかに正しく反映できるかが重要である。更に付け加えると、正しい結果を得るためには検査開始前の時点やサンプル受付時の所有者からの稟告で、詳細なデータを入手することができるかどうかということも重要である。これまでエルサルトラボではサンプル受付と総合診断は病理部門で対応していたが、現在日本人専門家が中心となり、サンプル受付から各分野で得られた結果を総合的に判断するための体制づくり、すなわち総合的診断のできる体制づくりが進められている(新しい体制が構築されれば、各分野で改善・向上される検査技術がより有効に働くものと推察される)。

(3) 資料を充実させること

上述の(1)(2)にも共通することであるが、正しい技術で正しい診断を行うためには、必要な資料を充実させることが肝要である。これは学術書や文献を揃えることはもとより、レファレンス用の細菌やウイルス株を整備すること、組織標本サンプルを充実させることまで含まれる。また現在では、より多くの情報や最新の情報を得るためにインターネットを利用することは不可欠であり、サンプルについての情報や結果を共用するためには、ラボ内におけるLANの構築も望まれる。

第6章 調査団長所感

(1) 調査団派遣時期について

専門家の体制も整備され、今後本格的な技術移転を円滑に行うために、プロジェクト開始後約1年を経過したこの時期に、先方関係機関と問題点の協議ができたことは時宜にかなっていたものと思われる。

(2) C/P体制の強化について

PDM、PO、APOを協議するとともに、C/Pの体制強化を図ることも本調査団の重要な目的の一つだった。本件に関しては、CENASAのアリアス所長の積極的な働きがプロジェクトコーディネーターとラボ所長との関係を調整してくれた(三者間覚書は付属資料2。「三者間による会議議事録」参照)。今後もプロジェクト(日本人チーム)、JICA事務所が覚書どおりにプロジェクトが運営されているかをモニタリングし、場合によっては交代を要求するといった、より積極的な手段の必要が生じる可能性があるものと思われる。

(3) プロジェクトの広報について

日本国大使館は本案件にかかわらず、日ごろよりJICA事業の広報の必要性(特にメキシコシティにおける)について説いている。本調査団も、SAGARPAの国際総局長に対し、本プロジェクトの広報の必要性につき要請した。同総局長自身は合同調整委員会に出席するつもりであり、そのときにはマスコミにもブリーフィングするとのことであったが、実際にはマスコミ取材はなかった。今後とも、マスコミへの広報について同局と連携し、繰り返しプロジェクトの広報の努力を行うことが重要だと思われる。

(4) SAGARPA(連邦政府)とハリスコ州政府機関との連携強化について

メキシコでは、71年間にわたり制度的革命党(PRI)政権の時代が続いていたが、2000年12月にPRIを破った国民行動党(PAN)のフォックス大統領が就任した。そのため、PRI党の知事の州と連邦政府とは必ずしも連携が円滑にとれない場合があるが、ハリスコ州はPAN党の知事であるため、連携に支障はないものと思われる。また、フォックス政権は6年間(再選なし)で、ちょうど本プロジェクト終了時に政権交代になるので、それに伴う影響は少なくて済むと思われる。

(5) プロジェクト成果の普及について

開始後1年では時期尚早だが、将来において国内他州、若しくは中南米諸国へ技術普及を展

開することを視野に入れて、現段階より準備を進める——例えば、プロジェクト内に研修室を設置したり、他州における状況調査等を運営委員会で協議し、報告・提言していくことなども必要であろう。

付 属 資 料

1. ミニッツ
2. 三者間による会議議事録
3. メキシコ側プロジェクトコーディネーターとエルサルトラボ所長の機能と役割
4. プロジェクトディレクターからプロジェクトマネージャーへ宛てた手紙

MINUTES OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE UNITED MEXICAN STATES
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT FOR THE IMPROVEMENT OF REGIONAL VETERINARY
DIAGNOSTIC SERVICES IN JALISCO STATE

The Japan Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Koji KAWAI, visited the United Mexican States from November 26th to December 6th, 2002. The purpose of the Team is to discuss, review and give advice, jointly with the Mexican authorities concerned (hereinafter referred to as "the Mexican side") on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM"), the Plan of Operations (hereinafter referred to as "PO") and the Annual Plan of Operations (hereinafter referred to as "APO") of the Project for the Improvement of Regional Veterinary Diagnostic Services in Jalisco State (hereinafter referred to as "the Project"). The Team also discussed major issues related to the implementation of the Project.

During its stay in the United Mexican States, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Mexican side in respect of the measures to be taken by both governments for the smooth implementation of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Mexican side agreed to recommend to their respective governments the matters referred to in the document attached hereto.

The Minutes are done in English and Spanish, each text is considered to be equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Guadalajara, Jalisco, Mexico, December 4, 2002



Koji Kawai

Leader
Project Consultation Team
Japan International Cooperation Agency
Japan




Rodrigo Diez de Sollano Elcoro

Secretary of Rural Development
Government of State of Jalisco
United Mexican States



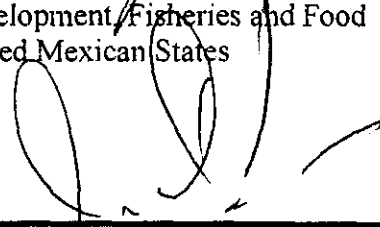
湯浅 襄

Noboru Yuasa
Chief Advisor
Japanese Experts Team



Ricardo Jiménez Rubio
President of the State Committee for
Livestock Promotion and Protection of
the State of Jalisco

José Angel del Valle Molina
General Director of Animal Health
Secretariat of Agriculture, Livestock, Rural
Development, Fisheries and Food
United Mexican States



Sergio Córdova Murrieta
Delegate of the Secretariat of Agriculture,
Livestock, Rural Development, Fisheries and
Food in the State of Jalisco
United Mexican States

Witnessed by

Víctor M. Villalobos Arámbula
Coordinator for International Affairs
Secretariat of Agriculture, Livestock,
Rural Development, Fisheries and Food
United Mexican States

R

ATTACHMENT

1. Project Design Matrix

The revised PDM was approved in the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") as shown in ANNEX 1.

2. The Project Activity Plans

PO in ANNEX 2 and APO for Japanese Fiscal Year 2003 based on PO in ANNEX3 were also approved in JCC.

3. Establishment of Monitoring System

Regular meeting chaired by the Project Coordinator will be organized to monitor the progress of activities. Sufficient data should be provided for each activity in the regular monitoring meetings. The monitoring report format was agreed to at the JCC as shown in ANNEX 4.

The monitoring report will be prepared in English by the Project and submitted to Mexican side and JICA Mexico Office every six months.

4. Evaluation System

JICA will dispatch evaluation teams at the middle (in 2004) and at the last six months remaining in the cooperation period (in 2006) for the purpose of coordinating the joint evaluation for the Project. Joint Evaluation Committee, which is composed of the members of the Japanese evaluation team and the Mexican evaluation team will be jointly organized. The Project will be evaluated in accordance with R/D, PO and PDM. Evaluation analysis will be made for the five evaluation criteria; namely efficiency, effectiveness, impact, relevance and sustainability. The Joint Evaluation Committee will prepare joint evaluation report.

5. Recommendation by the Team

The Team issued the following suggestions and recommendations in order to improve the coordination of activities for the Project.

- (1) The Project Coordinator is responsible for the coordination with the institutions involved in the Project while the Chief of El Sallto Lab is responsible for the technical part. Details of each function are shown in ANNEX 5 and ANNEX 6. Both personnel should work jointly in order to coordinate their activities and collaborate for the successful implementation of the Project.

Kō my

K

of

- (2) It is considered as a useful instrument to identify problems and solutions, to have a meeting at least one time at half a year among the related institutions.
- (3) The target area of the Project is focused on Jalisco State. Therefore, during and after the Project, it is recommendable to make self-reliant efforts by the Mexican side to disseminate the technology and system introduced through the Project to Diagnostic Veterinary Labs in Jalisco and other states. CENASA will play the main role in coordinating as well as supporting this extension, while the organizations concerned in Jalisco State will be required to support the efforts made by SAGARPA.
- (4) CENASA is responsible for the assistance to the Project in respect of supplying materials, diagnostic reagents and standardization of diagnostic technology.
- (5) COMITE is responsible for the management and supervising the El Salto Lab such as on budget, personnel, materials and equipments.
- (6) The Mexican side is responsible for publicizing of the activities of the Project to the population and Public Opinion in Mexico positively.
- (7) The Mexican side is responsible to secure a purchase route and sources of budget, for materials necessary for the Project, such as reagents and consumable articles, in consideration of the sustainability of the Project after its cooperation period is finished.

ko my

K

g

/

LIST OF ANNEX

- ANNEX 1. Project Design Matrix (PDM)
- ANNEX 2. The Plan of Operations (PO)
- ANNEX 3. Annual Plan of Operations (APO)
- ANNEX 4. The monitoring report format
- ANNEX 5. Mexican counterpart personnel
- ANNEX6. Project organization chart
- ANNEX7. Project cooperative activity
- ANNEX8. Output and Input of Mexican side in 2002

K¹ my

K

/

LIST OF ABBREVIATION

SAGARPA: Secretariat of Agriculture, Livestock, Rural Development, Fisheries and Food

COMITE: Committee for the Fomentation of Livestock and Animal Protection in the State of Jalisco

SEDER: Secretariat of Rural Development, Government of State of Jalisco

CENASA: National Center of Diagnostic Services for Animal Health

El Salto Lab: Regional Reference Laboratory for Animal Pathology of El Salto in the State of Jalisco

PCR: Polymerase Chain Reaction

HE: Haematoxylin Eosin stain

CF: Complement Fixation

PRRS: Porcine Reproductive and Respiratory Syndrome

ELISA: Enzyme-linked Immunosobentassay

to my

R

Project Design Matrix of The Project for the Improvement of Regional Veterinary Diagnostic Services in Jalisco State

Term of Cooperation: 5 years	Target Area: state of Jalisco	Target Group: Livestock Farmers in the Target Area	Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumptions
Narrative Summary (Overall Goal) Animal health status is improved in the state of Jalisco	Phase of the campaign diseases is improved.	Statistics of animal health in MEXICO	1. Government's programs for animal health are continued and further strengthened. 2. Important animal infectious diseases are not introduced from other states.		
(Project Purpose) The integrated diagnostic system is strengthened at the laboratories of the COMITE in the state of Jalisco	The campaign diseases can be diagnosed at the laboratories of the COMITE in the state of Jalisco.	Annual report of the examination and diagnosis of COMITE	1. The results of diagnosis are reflected to the animal health policy of the state of Jalisco. 2. Livestock farmers fully participate in 'animal health programs.'		
(Outputs) 1. Basic examination techniques are improved at El Salto Lab. 2. Diagnostic techniques for infectious diseases prevailing in the state of Jalisco are improved at El Salto Lab. 3. Knowledge and techniques of animal health are improved in personnel concerned with animal health, including ones of the other COMITE laboratories in the state of Jalisco	1. Number of basic examination techniques is increased at El Salto Lab. 2. More than 9 kinds of infectious diseases prevailing in the state of Jalisco are diagnosed at El Salto Lab. 3. Training courses and seminars are held more than 3 times a year.	1. Check list. Technical Manuals 2. Check list. Record of the examination and diagnosis at EL Salto Lab. 3. Record of the courses and seminars. (Number of the meetings and participants) References	1. Sufficient numbers of field materials in acceptable form are gathered at the laboratories of COMITE. 2. A system of the diagnosis is working at the laboratories. 3. The results of diagnosis are fed back to users for better farm management.		
(Project Activities) 1. Improvement of basic examination techniques 1-1. Virological examination 1-2. Bacteriological examination 1-3. Pathological examination 2. Improvement of diagnostic techniques for infectious diseases prevailing in the state of Jalisco 2-1. Virological diagnosis 2-2. Bacteriological diagnosis 2-3. Pathological diagnosis 3. Training for personnel concerned with animal health in the state of Jalisco 3-1. Transfer of diagnostic techniques through training courses 3-2. Extension of information and diagnostic techniques for animal diseases through seminars	(Input) I. Japanese side 1. Dispatch of Japanese experts 1-1. Long-term experts (Chief Advisor, Project Coordinator, Virology, Bacteriology, Pathology) 1-2. Short-term experts (when necessity arises) 2. Provision of equipment 3. Training of Mexican counterparts in Japan (when necessity arises) II. Mexican side 1. Assignment of counterpart personnel 1-1. Project Director 1-2. Project Manager 1-3. Project Coordinator 1-4. Chief of El Salto Lab 1-5. Counterparts in each field (Virology, Bacteriology, Pathology) 1-6. Administrative staff (secretary, other supporting staff) 2. Provision of land and facilities for the Project 3. Provision of budget for local costs of the Project		1. Counterparts continue working for the Project. 2. Necessary budget is allocated to El Salto Lab. 3. Budget for facilities and staffs of the other laboratories of COMITE are secured.		
					(Preconditions) 1. Construction of El Salto Lab with installation is completed. 2. Necessary budget for fiscal year 2001 is secured to El Salto Lab. 3. Routine work is implemented at El Salto Lab. 4. Necessary staffs are allocated. 5. Even after the change of Federal and State governments, the basic policy for animal health is not changed extensively. 6. CENASA and other organizations concerned provide necessary support to the Project.

Campaign Disease: Bovine (brucellosis, tuberculosis, tuberculosis, rabies, tick borne disease), Swine (hog cholera, Aujeszky's disease), Avian (avian influenza, Newcastle disease, salmonellosis)

Plan of Operation

Project for the Improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco State

Activities	Results/Expected Output	2001				2002				2003				2004				2005				2006				Main personals charge in	Inputs	Note
		III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV					
1. Improvement of basic examination techniques																												
1-1. Virological examination																												
1-1-1. Examination of avian viruses by chicken embryos	Examinations of avian viruses become possible																											
1-1-2. Cell culture techniques	Cell cultures become possible.																											
1-1-3. Isolation and identification of viruses by cell cultures	Examinations of viruses by cell cultures become possible.																											
1-1-4. Serological examination	Serological examinations become possible.																											
1-2. Bacteriological examination																												
1-2-1. Introduction of standard strains	Standard strains are introduced and used as reference strains.																											
1-2-2. Methods for isolation and identification of bacteria	Methods for sample collection, isolation, cultivation and identification are improved.																											
1-2-3. Preservation methods for bacteria	Important isolates and standard strains are preserved and used as a reference strains.																											
1-2-4. Drug sensitivity test	Results of drug sensitivity tests are used for treatment.																											
1-3. Pathological examination																												
1-3-1. Techniques for necropsy and collection of specimens	Sampling system is established for histopathological examination.																											
1-3-2. Techniques for preparing histopathological specimens	Histopathological observations are used for systematic diagnosis.																											
1-3-3. Techniques for special staining	Histopathological diagnosis is confirmed.																											
1-3-4. Observation of specimens from various diseases	Techniques for histopathological diagnosis of various diseases are improved.																											
1-3-5. Preservation of histopathological diagnosis data	Histopathological diagnostic data are accumulated in CD for the future.																											

K My

K V

Plan of Operation

Project for the Improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco State

Activities	Results/Expected Output	2001		2002		2003		2004		2005		2006		Main personals in charge in	Inputs	Note
		III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II			
2. Improvement of diagnostic techniques for infectious diseases prevailing in the state of Jalisco.																
2-1. Virological diagnosis																
2-1-1. Evaluation and improvement of the present diagnostic procedures.	Problems of the present techniques are clarified.															
2-1-2. Detection of viruses by PCR method	Virological diagnosis by PCR method becomes possible.															
2-1-3. Production of viral antisera and their application	Necessary antisera become available.															
2-2. Bacteriological diagnosis																
2-2-1. Diagnosis of diseases caused by multiple agents	The accuracy of diagnosis is improved with isolation techniques for multiple agents.															
2-2-2. Serological diagnosis	Confirmatory diagnosis can be made serologically.															
2-2-3. Preparation of antisera for serotyping	High titer antisera are obtained and utilized for serotyping.															
2-2-4. Identification and analysis of bacteria with PCR method	It becomes possible to analyze bacteria with high precision.															
2-3. Pathological diagnosis																
2-3-1. Immunofluorescence staining method	A rapid and confirmatory histopathological diagnosis becomes possible by detecting specific antigens in lesions.															
2-3-2. Immunohistochemical staining method																
2-3-3. Production of antisera for immunological staining	High titer antisera are available for immunological staining.															

R. M. J.

K. J.

Plan of Operation

Project for the Improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco State

Activities	Results/Expected Output	2001		2002		2003		2004		2005		2006		Main personals in charge in	Inputs	Note
		III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II			
3. Training for personnel concerned with animal health in the state of Jalisco	Diagnostic techniques at regional laboratories are improved.															
3-1. Transfer of diagnostic techniques through training courses	Knowledge about animal health is improved in personnel concerned with animal health.															
3-2. Extension of information and diagnostic techniques for animal diseases through seminars																

K

my

✓

KBO

Annual Plan of Operation (2002-2003)

Project for the Improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco States

Activities	Results/Expected Outputs	2003												Main personals charge in	Inputs	Note			
		2002																	
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11						
1. Improvement of basic examination techniques																			
1-1. Basic virological examination techniques																			
1-1-1. Cell culture techniques																			
1) Introduction, preparation, maintenance and preservation of cell lines	Cell lines necessary for virological examination are maintained.																		
2) Preparation of primary cell cultures	Primary cell cultures are prepared.																		
1-1-2. Isolation and identification of viruses by cell cultures.																			
1) Isolation and identification of mammalian viruses by using cell lines	Isolation and identification of mammalian and avian viruses become possible.																		
2) Isolation and identification of avian viruses by chicken primary cells																			
1-1-3. Serological examination																			
1) Serological examination using cell lines	Virus neutralization test becomes possible.																		
1-2. Basic bacteriological examination techniques																			
1-2-1. Introduction of standard strains	Standard strains are introduced and used as reference strains.																		
1-2-2. Methods for isolation and identification of bacteria	Isolation and cultivation of pathogenic bacteria becomes possible.																		
1) General techniques for isolation and cultivation of bacteria																			
2) Special techniques for isolation and cultivation of bacteria																			
3) Serological typing method	Serotyping of bacteria becomes possible.																		

K My

F70

<p>1-2-3. Preservation method for bacteria</p> <p>1) Isolated strains</p> <p>2) Reference strains</p> <p>1-2-4. Techniques for drug sensitivity test</p>	<p>Information about isolates is accumulated.</p> <p>Reference strains are used as a standard.</p> <p>Results of drug sensitivity tests are used for treatment.</p>	<p>Pathology :</p> <p>Ruben Echeveste</p> <p>Fabian Valenzuela</p> <p>Hirotohi Matsumura</p>	
<p>1-3. Basic pathological examination techniques</p> <p>1-3-1. Techniques for necropsy and collection of specimens</p> <p>1-3-2. Techniques for preparing histopathological specimens</p> <p>1-3-3. Techniques for special staining</p> <p>1) General staining</p> <p>2) Special staining for microorganisms</p>	<p>Techniques for necropsy are improved for observing lesions and for making a proper sampling.</p> <p>Accurate histopathological observation is possible under the consideration of systematic diagnosis.</p>		
<p>1-3-4. Observation of various histopathological specimens</p> <p>1) Cattle</p> <p>2) Pig</p> <p>3) Poultry</p>	<p>Accurate interpretation is possible by HE and other staining methods.</p> <p>Detection and localization of special bacteria in lesions become possible.</p>		
<p>1-3-5. Preservation of histopathological diagnosis data</p>	<p>Histopathological diagnosis of animal and avian diseases is improved.</p> <p>Histopathological diagnosis data are accumulated in Compact Disc for the future.</p>		

K
My
FD

Annual Plan of Operation (2002-2003)

Project for the Improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco States

Activities	Results/Expected Outputs	2003												Main personals charge in	Inputs	Note	
		2002	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
2. Improvement of diagnostic techniques for infectious diseases prevailing in the state of Jalisco.																	
2-1. Virological diagnostic techniques.																	
2-1-1. Defection of virus by PCR method.																	
1) Introduction of equipments and transfer of PCR method	It becomes possible to detect virus by PCR method.																
2-1-2. Production of viral antisera and their application																	
1) Preparation of antisera against chicken viruses	Antisera for serological identification of viruses are available.																
2-2. Bacteriological diagnostic techniques																	
2-2-1. Diagnosis of diseases caused by multiple agents																	
1) Isolation and identification of multiple agents	It becomes possible to isolate bacteria from diseases caused by multiple etiological agents.																
2-2-2. Serological diagnosis																	
1) Serological tests of brucellosis and paratuberculosis	It becomes possible to diagnose brucellosis and paratuberculosis with agglutination, ELISA and CF tests.																
2-3. Pathological diagnostic techniques																	
2-3-1. Immunofluorescence staining method																	
1) Hog cholera	Diagnosis of hog cholera becomes possible.																
2-3-2. Immunohistochemical staining method																	
1) Immunohistochemical staining of PRRS virus	Distribution of viral antigens in pigs is clarified and contributes to the diagnosis of porcine respiratory disease complex.																
2) Immunohistochemical staining of porcine circovirus																	

K
my
7/27

Annual Plan of Operation (2002-2003)

Project for the improvement of Regional Diagnostic Services in Jalisco States

Activities	Results/Expected Outputs	2003												Main personals charge in	Inputs	Note		
		2003																
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11					
3. Training for technicians of other laboratories of the COMITE in the state of Jalisco.																		
3-2. Extension of information and diagnostic techniques for animal diseases through seminars. 1) To hold technical seminars	Knowledge for animal health is improved in personnel concerned with animal health.																	

K

By



KD

ANNEX 4

Monitoring Report Format

No.	Project Output and Activities	Target / Indicator	2003				Reasons if planned targets wouldn't been satisfied	Remark
			I	II	III	IV		
Output 1	Plan							
	Actual							
1.1								
1.1.1	Plan							
	Actual							
1.1.2	Plan							
	Actual							
1.1.3	Plan							
	Actual							
1.1.4	Plan							
	Actual							
1.2								
1.2.1	Plan							
	Actual							

K

MM

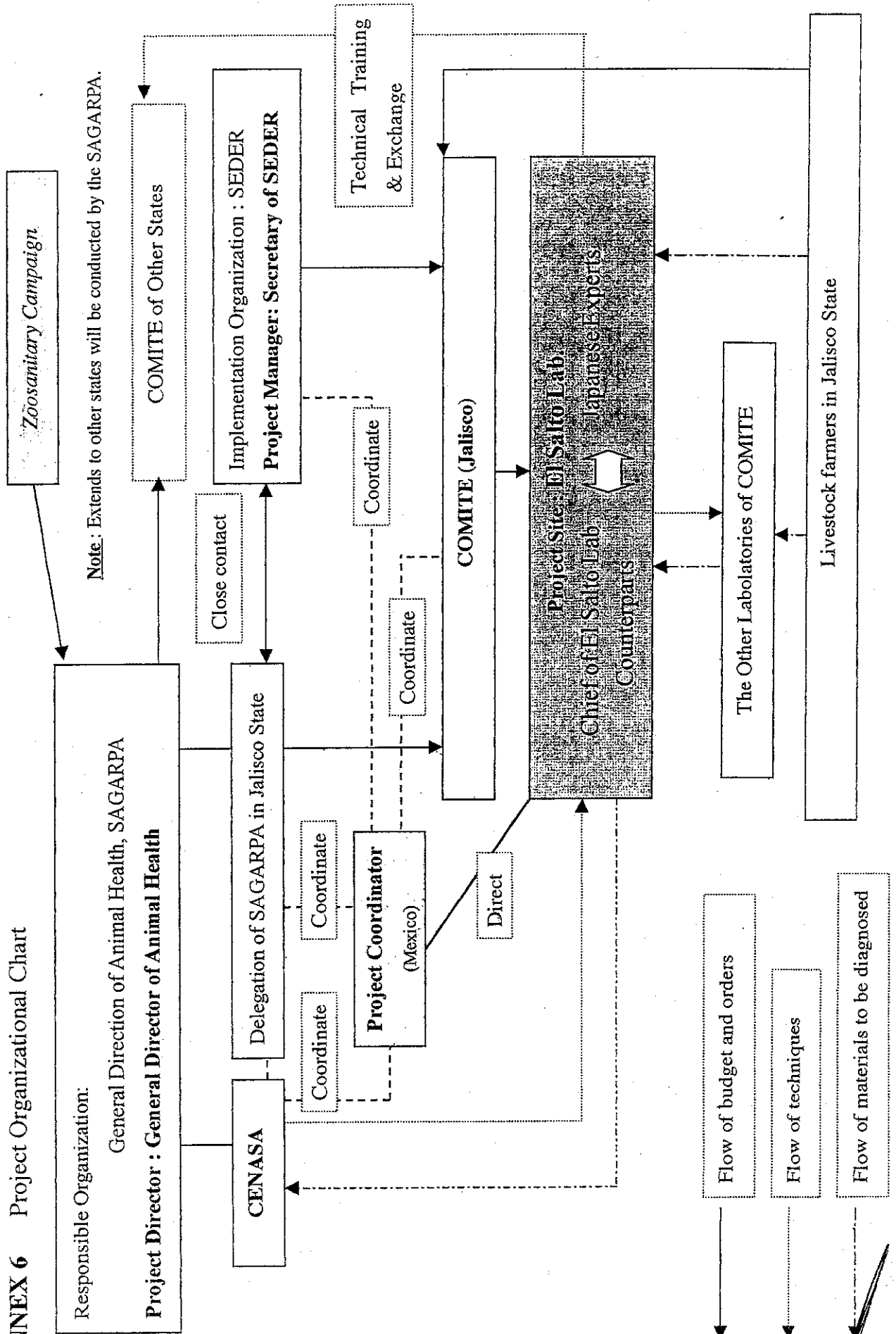
6/27

Mexican Counterpart Personnel

Position / Section	Name
Project Director	MVZ. José Angel del Valle Molina
Project Manager	ING. Rodrigo Diez de Sollano Elcoro
Project Coordinator	MVZ. Carlos Floreschapa de Ita
Chief of El Salto Lab	QBA. Abraham Massa Peniche
Virology	MVZ. Alonso Galán Coronado
	MVZ. Elvia Sánchez González
	T.Q. Verónica Catalina González Facundo
	T.Q. Luis Eduardo Franco Flores
	T.Q. Lorena Olivia Farias Rolón
Bacteriology	MVZ. Javier Borja Contreras
	MVZ. Mónica Meza Bañuelos
	MVZ. Luis Humberto Chávez Bugarin
	MVZ. María Edith Zepeda Canseco
	Q.F.B. Nidia Judith Chávez Ortega
Pathology	MVZ. Ruben Echeveste García de Alba
	MVZ. Fabián Valenzuela Preciado
	T.Q. Leticia Barraza Ramírez



ANNEX 6 Project Organizational Chart



R
 MGR
 128

ANNEX 7

Project Cooperative Activity (2001 December to November 2002)

Descp.	Contents (Resumen, Type, Name, Area)												
Despatch of the Mission	The Mission of Management Advice												
Despatch of the Experts	Long term	1) Noboru YUASA (Chief Advisor, Virology)	2) Tesuya KAWAKAMI (Coordinator)	3) Shiro YAMAI (Bacteriology)	4) Hirotsu MATSUMURA (Pathology)	5)							
	Short term	1) Masashi EGUCHI (Bacteriology)	2) Akihiko TOSHIMITSU (Cell Culture Methods)	3) (Bacteriological Diagnosis)	4) (Histopathological Diagnosis)	5)							
Training for the Mexican Counterparts in Japan	1)	Carlos FLORESCHAPA (Project Management)	2) Ruben ECHEVESTE (Histopathological Diagnosis)	3) Monica MEZA (Technique for the Cultivation and Identification of Bacteria)	4) Elvia SANCHEZ (Virus Isolation Technique by Cell Culture Methods)	5)							
	Donation of Equipment	US\$500,000 (2001, Receipt) , US\$185,000 (2002, Procedure)											
	Accompanied Equipment with the Experts	US\$50,000 (Receipt), US\$15,000 (Plan until March, 2003)											
	Running Cost	US\$20,000(2001), US\$50,000(2002)											
	Atn : The short term experts of 3) and 4) will despatch for three months from early next year.	Training for the Mexican Counterparts in Japan will implement early next year. 2) 3) 4) will be for three months. 5) will be ten days											
Remark :	Dec.,2001 Inauguration of the Laboratory, Mar.,2002 Installation of Exclusive Telephone Line, Apr.,2002 Installation of Internet, may,2002 Implementation of the Seminar, Jun.,2002 Amplification of the Laboratory of Bacteriological Diagnostics, Jul.,2002 Collocation of All Counterparts												

K
F

AS

ANNEX 8

Output and Input of the Budget of Mexican Side in 2002

(Unit : One Thousand Yen)

CATEGORY	OUTPUT(JAN. TO AUG.)	INPUT(SEP. TO DEC.)	TOTAL
Combustible and Lubricant	63	88	151
Purchase of Equipment	4,196	240	4,436
Tax and Commission of the Customs	8,908	5,042	13,950
Maintenance and Installation of Infrastructure	1,882	5,236	7,118
Maintenance of Equipment of the Laboratory	47	873	920
Maintenance of the Vehicles	250	88	338
Purchase of the Laboratory Furniture	1,260	960	2,220
Personal Salary	9,345	5,464	14,809
Purchase of the Reactive and the Materials	2,529	1,927	4,456
Service of Electric Energy	315	153	468
Service of Spring-Clean	584	185	769
Service of telephone	156	119	275
Uniform and Equipment of Protection	258	283	541
TOTAL	29,793	20,658	50,451

Laboratorio El Salto, Jalisco. 3 de diciembre de 2002

MINUTA DE LA REUNIÓN EFECTUADA CON EL MVZ CARLOS FLORESCHAPA, EL QUÍMICO ABRAHAM MASSA PENICHE Y EL DR. JESÚS ARIAS IBARRONDO.

Se analizó la problemática presentada al Dr. Arias por la Misión de JICA quedando en el compromiso de los puntos que a continuación se mencionan:

1. Una vez al mes se reunirán los responsable operativos involucrados en el proyecto para analizar los avances y problemáticas que se presenten y proporcionar alternativas de solución al comité directivo del proyecto que se reúne en forma bimestral. Se elaborará un calendario de juntas con el compromiso de asistir a las mismas. Las personas involucradas son:
MVZ Carlos Floreschapa de Ita
QBA Abraham Massa Peniche
MVZ José Antonio González Godoy
MVZ José Llamas Gutierrez
2. El Jefe del laboratorio acordará con el Coordinador del proyecto de la parte mexicana los trámites administrativos necesarios para el laboratorio con la finalidad de facilitar y agilizar los mismos para el buen funcionamiento del laboratorio.
3. Se elaborará un procedimiento de compras con sus formatos respectivos para facilitar los trámites. Existe uno propio del comité si es factible se utilizará y en caso de que deba ser adaptado para dar servicio al proyecto se elaborará uno adicional.
4. Se recomienda que en las reuniones mensuales se elabore un programa de adquisiciones de materiales y reactivos para evitar compras urgentes,
5. Se sugiere que el Jefe del laboratorio participe en todas las reuniones tanto operativas como del comité directivo cuando lo considere conveniente el Comité Estatal para el Fomento y Protección Pecuaria del Estado de Jalisco, S.C.
6. Es necesario elaborar información mensual de los avances del proyecto, Este puede ser dividido por las mismas áreas que se tienen planteadas en el Plan Anual de Operaciones.
7. Es importante que exista una mayor comunicación entre el laboratorio y el CENASA con el propósito de identificar las áreas de oportunidad y apoyo por parte de este último y no simplemente dejarlo a comunicaciones sobre necesidades de células y/o virus.
8. El laboratorio deberá de informar a la Dirección General de Salud Animal de los resultados obtenidos en el mismo conforme a la Norma Oficial Mexicana del Sistema Nacional de Vigilancia Epidemiológica, (SIVE).

MVZ Carlos Florechapa de Ita
QBA Abraham Massa Peniche
Dr. Jesús Arias Ibarrodo



ハリスコ州エルサルトラボ 2002年12月3日

カルロス・フローレスチャパ・データ、アブラム・マッサ・ペニーチェ、ヘスス・アリアス・イバロンドの間で行われた会議の議事録

JICA 調査団よりアリアス氏に対し提起された問題点を分析し、下記の点を約束し合った。

1. 1ヶ月に一度プロジェクトの運営責任者が会合し、問題点と進捗状況を分析し、2ヶ月毎に開催されるプロジェクト運営委員会 (comite directivo del proyecto) に解決策を提案する。会議の日程を作成し、下記の者が必ず出席するようにする。
カルロス・フローレスチャパ・データ (プロジェクトコーディネーター)
アブラム・マッサ・ペニーチェ (ラボの所長)
ホセ・アントニオ・ゴンサレス・ゴドイ (Comiteの事務局長)
ホセ・ジャマス・グティエレス (SAGARPA ハリスコ州支局衛生課長)
2. ラボ所長はラボが必要とする管理上の手続きに関し、メキシコ側プロジェクトコーディネーターと調整し、ラボの運営がうまく行くよう、手続きのスムーズ化、迅速化に努める。
3. 手続きを容易にするため、購入手続き手順表と相当する書式を作成する。
ハリスコ州牧畜振興保護委員会 (Comite) に既存の書式があればこれを使用し、プロジェクト用に修正する必要がある場合には新しい書式を作成する。
4. 月例会議の際に資材・試薬の購入スケジュールを作成し、緊急購入を防ぐようにすることが望ましい。
5. Comite が適切と考えた場合には、ラボ所長はオペレーションレベルの会議は勿論、運営委員会の会議も含め、全ての会議に出席するべきである。
6. プロジェクトについては毎月進捗状態に関する情報を作成する必要がある。
この情報は APO の分野別に作成することが望ましい。
7. ラボと CENASA の間のコミュニケーションをより緊密にすることが重要である。
単に細胞やウイルスについて、ラボが何を必要としているかのみを CENASA に連絡するのではなく、CENASA が (プロジェクトに) 参加するチャンスのある分野を発掘し、又 CENASA からラボが有効な支援を受けるためにも、この点は大切である。
8. ラボは家畜衛生局に対し、全国疫学監視システム (SIVE) のメキシコ公式規格に準じ、ラボで得られた成果につき報告するものとする。

カルロス・フローレスチャパ・データ	署名
アブラム・マッサ・ペニーチェ	署名
ヘスス・アリアス・イバロンド	署名

Puesto: Coordinador del Gobierno del Estado de Jalisco.

Funciones:

1.- Planear y organizar las actividades del proyecto relacionadas con el Laboratorio en coordinación con el jefe del mismo y con el director del Comité Estatal para el Fomento y Protección Pecuaria del Estado de Jalisco, S.C.

2.- Organizar con su contraparte JICA la logística para realizar los programas de donación de equipos y de capacitación, la obtención de recursos y la distribución de acciones y tiempos que permitan cubrir las necesidades o indicaciones emanadas de los acuerdos del líder del proyecto JICA y el Jefe del Laboratorio, a fin de eficientar y/o implementar técnicas de diagnóstico o proyectos de investigación en el Laboratorio Regional de Patología Animal de El Salto, Jal., así como en los demás laboratorios de la Entidad y de la Región.

Considerándose como acciones:

- Realizar cotizaciones y/o licitaciones de equipos, materiales, reactivos e infraestructura solicitados.
- Tramitar pagos que excedan de 3,000 por conducto del CEFPP.
- Relacionar los proveedores del laboratorio con el CEFPP.
- Coordinar las actividades relacionadas a la transferencia de tecnología y la capacitación así como los enlaces con otros laboratorios, centros de investigación y visitas de campo.
- Comunicar por escrito y con anticipación las llegadas y salidas de expertos japoneses al jefe del laboratorio y CEFPP
- Realizar los informes técnicos proporcionados por el jefe del laboratorio y administrativos relacionados con el Proyecto- JICA.

3.- Coordinar con su contraparte JICA los recursos y acciones para apoyar las concertaciones entre el líder del proyecto JICA y el Jefe del Laboratorio sobre el programa de capacitación del personal técnico del Laboratorio, tanto en el país o en el extranjero para su consideración por el CEFPP y postulación por el gerente del proyecto.

4.- Enlazar los apoyos de recursos humanos, materiales proporcionados por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón, la Dirección General de Sanidad Animal de la SAGARPA, La Secretaría de Desarrollo Rural del Gobierno del Estado de Jalisco, El Comité Estatal para el Fomento y Protección Pecuaria del Estado de Jalisco S.C. y de otras Instituciones para el buen desarrollo del proyecto.

5.- Verificar en forma conjunta con el jefe del laboratorio la recepción de los equipos otorgados por JICA, que éstos se encuentran sin faltantes y cumplan con las especificaciones mencionadas en la documentación que ampara su adquisición, antes de ser entregados al responsable de su operatividad quien verificará su buen funcionamiento.

6.- Vigilar el buen ejercicio de los apoyos proporcionados al proyecto por parte del Gobierno Mexicano.

7.- Establecer un programa de difusión en coordinación con el líder del proyecto japonés y el jefe del laboratorio con la participación de las contrapartes a través de seminarios, informes, reportes, boletines y de otros medios que permitan dar a conocer a la población los avances de la transferencia de tecnología y proyectos de investigación que se contemplen en el programa, así como sus beneficios a la salud pública y a la economía pecuaria.

8.- Elaborar en coordinación con el jefe del laboratorio los informes específicos del proyecto que las instituciones y organizaciones participantes requieran con una periodicidad de 2 meses.

9.- Comunicar por escrito las llegadas y salidas de expertos o contrapartes JICA a Instituciones, Organizaciones, Jefe de Laboratorio contrapartes mexicanas para su atención adecuada.

10.- Determinar con el líder del proyecto JICA y gerente del mismo su horario en el proyecto.

役職：ハリスコ州政府コーディネーター

機能：

1. ラボ所長及び COMITE 事務局長と調整を図りながらのラボと連携するプロジェクト活動策定及び組織作り
2. エル・サルトラボ、さらには他の地域ラボ、私設ラボにおける診断技術あるいは研究プロジェクトの効果性、実施のための、機材供与、研修、リソース確保、リーダー及びラボ所長の合意の下で発案された必要性あるいは説明の場の設定などロジスティックな面での JICA との協議

実施項目：

- 資機材・試薬・インフラ整備に係る見積取り付け・入札・購入手続き
 - COMITE が執行する 3,000 ペソ以上の支払い手続き
 - COMITE と関係を持つラボ業者とのコンタクト
 - 技術移転・研修活動調整/他ラボ・研究所との連携、郊外視察アレン
 - ラボ所長及び COMITE へ文書による日本人専門家離着任報告
 - JICA プロジェクト関連の運営管理報告及びラボ所長による技術報告作成実施)
3. COMITE が思料する国内外及びプロジェクトマネージャーが配慮するラボ技術者研修計画に関するリーダーとラボ所長との協議への協力のためのリソース・活動に係る日本側 C/P との調整
 4. JICA、SAGARPA 家畜衛生局、SEDER、COMITE、その他の関係機関による人材、材料、技術提供獲得のための連携
 5. ラボ所長と連携を図りながらの JICA 供与機材の完璧な引き取り、これに当たり納入物品のもののチェック、要請仕様合っているかのチェック、引き取り前の稼働のチェックなどを実行
 6. メ側政府によるプロジェクトへの援助実施の監督
 7. プロジェクト活動の進捗を実証し、ひいては公衆衛生、畜産経済に裨益をもたらすであろうセミナー、報告書、通信物、その他のメディアを通じ、プロジェクト日本人リーダー及びラボ所長・カウンターパートと調整を図りながらの普及プログラム確立
 8. ラボ所長との調整によるプロジェクト関係機関が要求するプロジェクト報告の 2 か月毎の作成
 9. 適切な配慮を得るための機関、団体、ラボ所長、カウンターパートへの専門家離着任あるいは日本側カウンターパートの来離墨の連絡
 10. プロジェクトリーダー及びマネージャーとプロジェクト勤務時間を決定

Puesto: Jefe del Laboratorio
Funciones relativas al Proyecto JICA.

- 1.- Participar en la planeación y la organización del Proyecto JICA en base a las necesidades y actividades del Laboratorio a su cargo.
- 2.- Coordinar con el Líder del Proyecto y/o expertos de JICA la evaluación de las técnicas de diagnóstico implementadas en el Laboratorio a su cargo, a fin de modificar o confirmar su desarrollo.
- 3.- Analizar y dictaminar las propuestas recibidas por el C.E.F.P.P. del Edo. de Jalisco para la implementación de técnicas de laboratorio solicitadas por las Organizaciones de Productores para fundamentar técnicamente su implementación ante las instancias correspondientes.
- 4.- Concertar con el Líder del Proyecto JICA el Programa de Capacitación del personal técnico a su cargo, debiendo de comunicar las propuestas al Coordinador designado por el Gobierno del Estado y al C.E.F.P.P. del Edo. de Jalisco para su consideración y gestión de recursos para su ejecución.
- 5.- Auxiliar al Coordinador designado por el Gobierno del Estado en la verificación y técnica de los equipos donados por JICA para la recepción y controles administrativos que correspondan.
- 6.- Llevar los controles administrativos y técnicos del equipo recibido de JICA.
- 7.- Participar en la elaboración y difusión de los programas del Proyecto JICA relacionados con la transferencia de tecnología y proyectos de investigación que se realicen a través de seminarios, reportes, boletines y otros medios de comunicación.
- 8.- Elaborar en forma bimestral los informes técnicos del proyecto JICA que el C.E.F.P.P. del Estado de Jalisco.
- 9.- Operar la caja chica del proyecto estando facultado para realizar compras con un máximo de \$3,000.00.

10.- Coordinar las contrapartes mexicanas para dar cumplimiento al proyecto.

11.- Dar las facilidades que correspondan a todos los participantes del proyecto JICA para el buen desempeño de sus funciones.

役職：ラボ所長

JICA プロジェクトと関連した機能

1. ラボの必要性と活動をベースとしたプロジェクト策定と組織作りへの参加
2. 計画の方向性/位置付けを確認・修正するための、ラボにおける診断技術評価に関するプロジェクトリーダー/専門家との調整
3. 生産者の要望に期待でき得るラボ技術実施のための、COMITE からの提案に対する分析・発言
4. 技術者研修プログラムに関するプロジェクトリーダーとの協議、その実施に係るリソースの熟考・実行のための、プロジェクトコーディネーターへの提案相談
5. JICA 供与機材の引き取り・維持管理等確認のための、検査・操作に関する州政府が任命したコーディネーターへの補助
6. JICA 供与機材維持管理
7. セミナー、レポート、通信物その他の情報伝達手段を通じ遂行される技術移転・研究プロジェクトのための、プロジェクト計画実施・普及への参加
8. ハリスコ州 COMITE が要求する JICA プロジェクト技術レポートの2 か月毎の作成
9. プロジェクト小口現金による 3,000 ペソ以下の物品購入オペレーション
10. プロジェクト活動遂行のためのメキシコ人カウンターパートの調整
11. JICA プロジェクトに関わる全ての参加者がその任務を遂行できるよう配慮する

4. プロジェクトディレクターからプロジェクトマネージャーへ宛てた手紙



SECRETARÍA DE AGRICULTURA,
GANADERÍA, DESARROLLO RURAL,
PESCA Y ALIMENTACIÓN.

SERVICIO NACIONAL DE SANIDAD,
INOCUIDAD Y CALIDAD AGROALIMENTARIA
DIRECCIÓN GENERAL DE SALUD ANIMAL

BOO.02.05.802

Asunto: Proyecto Laboratorio El Salto, Jalisco.

México D. F. 29 de noviembre de 2002

ING RODRIGO DIEZ DE SOLLANO EL CORO
SECRETARIO DE DESARROLLO RURAL DEL ESTADO DE JALISCO
Presente

Con relación al Resumen de Discusiones sostenidas con la misión japonesa que se encuentra actualmente en nuestro país y que es liderada por el Sr. Koji KAWAI, me permito informarle las inquietudes manifestadas a esta Dirección General a mi cargo sobre algunos puntos que consideran de gran importancia para el buen desarrollo del proyecto.

En primer término nos pidieron una mayor participación de las autoridades de la Delegación de la SAGARPA en el Estado de Jalisco, así como un mayor apoyo del Centro Nacional de Servicios de Diagnóstico en Salud Animal (CENASA)

Por otro lado mencionaron la necesidad de que el Coordinador del proyecto por la parte mexicana pueda dedicarse de tiempo completo a las actividades del mismo. Manifestaron su petición de que el MVZ Flores Chapa continúe ya que ha sido la persona que ha estado involucrada desde su inicio, pero en el caso de que no fuera posible que esté de tiempo completo solicitaron tuviera a bien designar un técnico de esa Secretaría a su digno cargo para dedicarse completamente al proyecto.

Quedo a sus ordenes para cualquier aclaración y aprovecho la ocasión para enviarle un cordial saludo.

ATENTAMENTE
SUFRAGIO EFECTIVO NO REELECCIÓN
EL DIRECTOR GENERAL

MVZ JOSÉ ÁNGEL DEL VALLLE MOLINA

c.p.p. Dr. Javier Trujillo Arriaga, Director en Jefe de SENASICA
Dr. Víctor Villalobos Arámbula, Coordinador de Cooperación Técnica de la SAGARPA
Ing. Sergio Córdova Murrieta, Delegado de la SAGARPA en el Estado de Jalisco
Dr. Jesús Arias Ibarrondo, Director del Centro Nacional de Servicios de Diagnóstico en Salud Animal

JAVM.JAI

2002年11月29日メキシコ連邦区

ホセ・アンヘル・デル・バリェ・モリナ SAGARPA 家畜衛生局長（プロジェクトディレクターからロドリゴ・ディエス・デ・ソリャノ・エルコロ・ハリスコ州農村開発局長（プロジェクトマネージャー）へ宛てたレター

件名：ハリスコ州エル・サルト・ラボ・プロジェクト

現在来墨中の、河合恒二氏を団長とする日本からの調査団との討議の中で、当局我自身にとり不可解な点が 2,3 あり、プロジェクトの発展に非常に重大と思料するところ、貴職に申し上げたい。

まず第1点は、当局に対し CENASA の多大なる支援、さらには SAGARPA ハリスコ州農政当局の積極的な参加を申し入れてきた。

また、メキシコ側プロジェクトコーディネーターについて、プロジェクトに専任できるよう、その必要性に係る説明を受けた。フローレスチャパ氏について、当初からプロジェクトに関わってきており、彼の継続を要請越された。しかしながら、専任が無理な場合は専任可能な人材を貴局より任命するよう申し入れを受けた。

以上の件について御検討いただきたい。

JICA